

〈一次案内〉

第50回北海道情緒障害教育研究会(十勝大会) 第48回十勝特別支援教育研究大会 開催要項

大会テーマ 子どもたちの未来のために 今できること、すべきこと

期 日 令和7年8月1日(金) 10:00~16:40

会 場 音更町文化センター〈小ホール〉
(河東郡音更町木野西通15丁目8番地)
参会形式 *後日アーカイブ配信予定



【主催】北海道情緒障害教育研究会、十勝特別支援教育振興協議会
【後援】北海道教育委員会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道特別支援学校長会、北海道国立幼稚園・こども園長会、北海道特別支援教育研究協議会、北海道特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会、北海道言語障害児教育研究協議会、北海道特別支援学級教育研究連盟、十勝管内教育委員会連絡協議会、音更町教育委員会、十勝小・中校長会、十勝管内小中学校教頭会、帯広市校長会、帯広市教頭会、十勝管内特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会、十勝特別支援教育推進ネットワーク協議会(とかねっと)

日 程

9:30 10:00 10:30 12:00 13:15 14:45 15:05 16:05 16:40

受付	開会式	講演① 二宮 信一 氏	昼食・休憩	講演② 川上 康則 氏	休憩	トークコーナー (質疑応答等)	閉会式
----	-----	----------------	-------	----------------	----	--------------------	-----

教材・グッズ展 (終日展示)

様々な支援教材やグッズを効果的に利用し、学習や生活の充実を図っていくことは特別支援教育において、とても重要な視点の一つです。子どもたちの「できた」「わかった」という喜びにつながるための「教材・グッズ展」を行います。

情報提供者 八嶋利永子 氏(発達サポート Hope)
大橋 渚 氏(中札内村立中札内小学校)
白人小学校にれすず学級(幕別町立白人小学校)

トークコーナー
ファシリテーター
角田 隆二 氏
帯広大谷短期大学講師

講演



講演 講師 **二宮 信一 氏**

演題 「地域型インクルーシブ教育を考える ～求められる教師像をめぐる～」

天使大学学長。法政大学卒業、北海道大学大学院修了。1977年に北海道YMCAに入職し、野外活動などの青少年教育や発達障害のある子の支援に携わる。星槎大学、北海道教育大学釧路校、天使大学にて、支援教育の普及と質の向上に貢献。多くの学生や現場の教職員に実践的な指導や研修、講演を行い北海道の特別支援教育の土台を作った。北海道の特徴でもある社会資源の少ないへき地での特別支援教育に関心をもち、加速度的に変化する社会の構造や状況に対し「地域型インクルーシブ教育」を提唱し、現在も研究を進めている。

講演 講師 **川上 康則 氏**

演題 「子どもの心の受け止め方」

東京都杉並区済美養護学校主任。立教大学卒業、筑波大学大学院修了。立教大学兼任講師、公認心理師、臨床発達心理士、特別支援教育士スーパーバイザー。障害のある子どもたちに対する教育実践を積むとともに、小中学校等からの相談にも応じている。主な著書に『教室マルトリートメント』『不適切な関わりを予防する教室「安全基地」化計画』(以上、東洋館出版社)、『教師の流儀』(エンパワメント研究所)、『はじめて特別支援学級担任になったら 教師と子どもが成長する学級経営』(Gakken) など多数。NHK「ストレッチマン」シリーズ番組委員も務めている。



松本さおり 氏(千歳市立みどり台小)による
グラフィックレコーディングで
講演内容の見える化に取り組みます。

